令和元年　９月１７日（火）　小中合同防災訓練（地震・津波想定）

防災教育の１つとして、今年度、初めて小中合同による防災訓練を行いました。今回の防災訓練は、「地震・津波」を想定した訓練で行いました。小中それぞれが規定の移動をして、長崎総合科学大学の体育館（グリーンヒル体育館）に避難を想定して行いました。校舎内の移動の際には、「お・か・し・も」（押さない、かけださない、しゃべらない、もどらない）を意識する生徒が多かったです。また、道路を移動する際も、迅速に動くことが出来たと思います。小中合同で初めて避難移動をしましたが、小学生も、小6と小１の児童がペアになって移動したりするなどの配慮がされていました。

「防災・安全教育担当」からの話や「校長先生」の講評後には、同じ地域に住む「児童・生徒同士の顔合わせ」を行いました。初めての取組ということで少し緊張している姿も見られましたが、小学生、中学生お互いがあいさつを行うと自然に笑顔が見られました。

今回の防災訓練を経験することによって、「日々の防災意識が高まった。」「以前より、日見地区における自然災害への関心が高まった。」「いざという場合には、小学生をサポートしないといけない」など、アンケートに意見が出されました。これからの防災教育に生かしていきたいと思います。